



永福学園通信

令和 7 年 5 月 1 2 日

第 2 号

東京都立永福学園
統括校長 三浦 昭広



新しい環境で育くむ力



校庭の植栽の木々が、みずみずしい緑に包まれ、初夏の陽ざしを浴びて一層輝いています。新年度が始まり 1 か月が経ち、児童・生徒は新しい環境の中でそれぞれの歩みを進めています。入学や進級、新しい友達や教職員との出会いなど、嬉しさや期待とともに、小さな緊張も抱えて生活をしている様子です。

環境が変わることによって得られるメリットは、子供たちの成長のチャンスが広がることです。新しい友達との交流を通して、コミュニケーションの幅が広がったり、これまで気付かなかった自分の一面に出会ったりする機会にもなります。一方で、慣れない環境や新しい人間関係に戸惑い、心身ともに疲れを感じやすくなるデメリットもあります。特に 5 月の連休明けは、緊張が一気にほどけた反動で、子供たちの様子に変化が見られることが多い時期です。普段より元気がない、朝起きるのが辛そう、学校の話あまりしなくなったなど、小さな変化が子供たちからのサインかもしれません。

学校では、教職員が子供たち一人一人の表情や言葉、行動にしっかりと目を向け、小さな変化にも気付くことを大切にしています。些細な違和感も見逃さないように寄り添いながら、日々の指導・支援にあたっています。さらに本校では、児童・生徒を多角的に支えるために「学校サポートチーム」を設置しています。このチームは、校長・副校長をはじめ、生徒指導・生活指導を担当する主幹教諭、養護教諭、臨床発達心理士、スクールソーシャルワーカー、スクールカウンセラー、そして警察署のスクールサポーターや校医（産婦人科）など、多職種が連携し、学校・家庭・地域・関係機関が一体となった支援体制を構築しています。関係機関の連携により、児童・生徒の問題行動等の未然防止や解決を図り、児童・生徒の健全育成を推進していきます。また、今年度からは、両部門の保護者代表として就業技術科マーガレット会会長と、肢体不自由教育部門 P T A 会長にサポートチームの一員に加わっていただきました。様々な立場の方々から助言や支援を受け、安心して通うことのできる学校づくりを進めてまいります。

児童・生徒の成長には、環境の変化による新しい経験が大切ですが、その過程で気になることがあれば、すぐにお声を掛けていただけると幸いです。何か気になることや心配な点があれば、どうぞ御遠慮なく学校まで御相談ください。

肢体不自由教育部門 副校長 安田 泉



新入生の新生活の感想

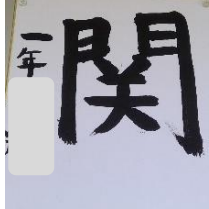


<就業技術科 1年生>

入学して約1か月、交友関係も広がり、生徒同士の会話が弾んできました。国語では、永福学園で頑張りたいことを決意の一文字として表す授業に取り組みました。



この文字を選んだ理由は、高校3年間、青春をしたいからです。楽しい青春を送りたいです。



私は食品コースで接客について学び、カフェで働いて外国人の方やいろいろな人と関わりたいので、この文字を選びました。

<肢体不自由教育部門 小学部 1年生>

- 永福学園、大好き！
- 学校が楽しいです。
- 図工が好きです。
- 体育が好きです。



<肢体不自由教育部門 中学部 1年生>

- 中学部もいいものだなあ！
- ゆっくりお茶が飲めてよかったです。
- 友達と一緒にだから心強いです。
- 体調も機嫌もよいです。
- 中学部でもウォーカー歩行を頑張ります。
- 先生とふざけ合えるほど中学部になじみました。



<肢体不自由教育部門 高等部 1年生>

- 高等部に入学して、緊張したけど、今は毎日楽しいです。
- 部活も頑張ろうと思っています。
- 毎日、勉強を頑張っています。
- 英語や体育の授業が楽しいです。



東京都立永福学園

副校長 安田 泉 松本 忍 篠塚 奈緒子
主幹教諭 吉岡 美佳 三浦 千尋

〒168-0064

東京都杉並区永福1丁目7番28号

電話 03-3323-1380

<https://www.eifuku-sh.metro.ed.jp/>